

営農再開のための放射性物質対策技術の開発

(1) 事業概要

東京電力株式会社福島第一原発事故により飛散した放射性物質の除染が完了した農地において、農業者が早期に、安心して営農を再開できるようにするため、福島県からの要望等に基づき、除染後農地の省力的維持管理技術の開発、農地への放射性物質流入防止技術の開発、及び放射性セシウム吸収抑制メカニズムの解明を推進します。

(2) 公募研究課題の研究開発内容、目標等

●公募研究課題1：除染後農地の省力的維持管理技術の開発

ア 研究開発の具体的内容

除染後速やかに利用再開できない農地における雑草繁茂の抑制及び土壌流亡の防止を可能な限り省力的に、かつ低コストで行えるようにするための技術、除染措置により地力が低下した農地の地力を農業者自らが回復させるための技術、及び放射線の被ばく量が少ない農作業の方法を開発し、これらの技術及び方法の効果を生産現場において実証します。

イ 達成目標（最終目標）

開発した技術を利用する際のコストを明らかにした上で、当該技術に関する農業者向けのマニュアルを作成します。

ウ 研究実施期間（予定）

平成27年度～平成29年度（3年間）

エ 平成27年度の委託研究経費限度額

18,000千円

<留意事項>

生産現場の意見を十分に反映した技術とするため、普及・実用化支援組織を研究グループに加えることとし、当該普及・実用化支援組織は、開発された技術の普及に努めてください。

上記技術に関する研究成果を公知化してください。

●公募研究課題2：農地への放射性セシウム流入防止技術の開発

ア 研究開発の具体的内容

今後の営農再開が見込まれる除染特別地域の農地において、周辺の森林やため池からの放射性セシウムの流入特性を解明し、当該知見を基に、放射性セシウムの流入を防止するためのほ場管理技術を開発し、生産現場においてその効果を実証します。

イ 達成目標（最終目標）

開発した技術を利用する際のコストを明らかにした上で、当該技術に関する農

業者向けのマニュアルを作成します。

ウ 研究実施期間（予定）
平成27年度～平成29年度（3年間）

エ 平成27年度の委託研究経費限度額
36,000千円

<留意事項>

生産現場の意見を十分に反映した技術とするため、普及・実用化支援組織を研究グループに加えることとし、当該普及・実用化支援組織は、開発された技術の普及に努めてください。

放射性セシウムの流入を防止するためのほ場管理技術に関する研究成果を公知化してください。

●公募研究課題3：放射性セシウム吸収抑制メカニズムの解明

ア 研究開発の具体的内容

放射性セシウム低吸収性品種の育成に対するニーズが高いと考えられる品目について、放射性セシウム吸収の低減に貢献する遺伝子を特定します。

また、農作物に関する現行の放射性セシウム吸収抑制技術の高度化に資するため、植物根による放射性セシウム吸収量と土壤溶液中のカリウム濃度との相関関係を明らかにするとともに、当該相関関係が植物の生育ステージ毎にどのように変化するかを明らかにし、土壤溶液から植物根へのセシウム吸収モデルを構築します。

イ 達成目標（最終目標）

特定した放射性セシウム吸収抑制遺伝子については、当該遺伝子を有する系統のほ場での栽培試験により、異なる栽培条件下での吸収抑制効果の安定性を確認します。

土壤溶液から植物根へのセシウム吸収モデルの構築については、被災地において現在利用されているカリウム施肥による放射性セシウム吸収抑制技術の費用対効果をより高めるための技術開発に繋がる知見を得ることを目標とします。

ウ 研究実施期間（予定）
平成27年度～平成29年度（3年間）

エ 平成27年度の委託研究経費限度額
18,000千円

<留意事項>

国内の関係者に対し、特定した放射性セシウム吸収抑制遺伝子に係るDNAマーカーに関する知的財産権の利用を広く許諾するとともに、当該DNAマーカーを利用するための育種母本を広く提供してください。

セシウム吸収モデルの構築に関する研究成果を公知化してください。

(3) 委託件数

公募研究課題ごとに、原則として1件とします。

(4) 問合せ先

上記の内容に関する問合せは、応募の締切りまでの間、下記において受け付けます。

なお、審査経過、他の提案者に関する事項、応募に当たり特定の者にのみ有利となる事項等にはお答えできません。また、これら以外の問合せについては、質問者が特定される情報等を伏せた上で、質問及び回答の内容を事務局のホームページにて公開させていただきますので、ご承知おきください。

記

- 公募研究課題について
農林水産技術会議事務局研究統括官（食料戦略、除染）室 担当者 永田
TEL：03-6744-2214
FAX：03-3502-4028

- 契約事務について
農林水産技術会議事務局総務課契約班 担当者 照井
TEL：03-3502-7967
FAX：03-5511-8622

委託プロジェクト研究の公募説明会 参加申込書
(営農再開のための放射性物質対策技術の開発)

農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究統括官(食料戦略、除染)室 宛
(fax : 03-3502-4028)

平成 年 月 日

該当委託プロジェクト研究名
営農再開のための放射性物質対策技術の開発

研究機関等の名称 :

参加希望人数 : 人

所属・役職 :

氏名 :

所在地 :

連絡先 : tel fax

e-mail :

その他 :

注)「所属・役職」欄以降の記載に当たっては、当該説明会参加を希望する者のうち、連絡窓口となる1名について記載して下さい。

委託プロジェクト研究「営農再開のための放射性物質対策技術の開発」
の公募に係る審査基準

審査項目	審査基準 各審査項目について、次の4段階で審査を行う。 A（10点）、B（7点）、C（3点）、D（0点）	
研究開発の趣旨	農林水産技術会議事務局が示した研究開発目標及び研究計画の方針との整合性があるか。	<p>A：十分に整合性がとれている。</p> <p>B：一部に整合性がとれていない箇所があるものの、研究の実施には支障がないと認められる。または、研究計画の一部修正により、整合性をとることが容易であると認められる。</p> <p>C：整合性がとれていない箇所が多数見られる。または、一部であっても、重要な点について整合性がとれていない。</p> <p>D：ほとんど整合性がとれていない。</p>
研究開発計画	農林水産技術会議事務局が示した研究開発目標及び研究計画の達成に向けて十分な内容となっているか。	<p>A：提案された研究内容で、十分達成が見込まれる。</p> <p>B：研究内容の（軽微な）一部修正により、十分達成が見込まれる。</p> <p>C：目標及び計画の達成のために、研究内容の大幅な変更が必要である。</p> <p>D：提案された研究内容では、ほとんど達成が見込まれない。</p>
	提案の研究開発計画（課題構成、実施期間等）及び内容が技術的に優れているか。	<p>A：技術的に優れている。</p> <p>B：技術的に優れている点はさほど見受けられないが、特に不十分な点も見受けられない。</p> <p>C：やや不十分な点が見受けられる。</p> <p>D：技術的に劣っている。</p>
	提案の研究開発内容に実現可能性があるか。	<p>A：十分実現可能性が高い。</p> <p>B：提案のままでは一部実現が難しいと思われる箇所がある。</p> <p>C：提案のままでは実現が難しいと思われる箇所が少なからずある。</p> <p>D：実現可能性が低い。または、内容の設定自体に問題がある（実現が容易なことのみを計画している等）。</p>
研究開発体制	提案の研究開発内容を	A：十分な技術能力及び設備を有している。

	<p>遂行するための高い技術能力や設備を有しているか（知的財産等の取組状況の有無を含む。）。</p>	<p>B：技術又は設備のいずれかで若干見劣りするものの、研究遂行には支障がないと見込まれる。</p> <p>C：技術又は設備のいずれかで見劣り、研究遂行に支障を来すおそれがある。</p> <p>D：技術的にも設備的にも見劣り、十分な研究の遂行が見込めない。</p>
	<p>研究開発の実施体制や管理能力等に優れているか。</p>	<p>A：実施体制、管理能力とも十分優れている。</p> <p>B：若干不十分な点が認められるものの、研究の遂行には支障がないと考えられる。または、計画等の一部修正で十分対応可能であると考えられる。</p> <p>C：いずれか又は両方に問題があり、計画等の大幅な見直しが必要と考えられる。</p> <p>D：いずれか又は両方に大きな問題があり、計画の見直し等では対応が困難であると考えられる。</p>
研究開発経費	<p>提案内容の予算配分が効率的なものとなっているか。</p>	<p>A：十分効率的であり、かつ十分な研究開発目標の達成が見込める配分と認められる。</p> <p>B：一部に非効率的な部分が認められるものの、研究の遂行には支障がないと認められる。または、計画等の一部修正により適切な配分とすることが可能と考えられる。</p> <p>C：適切な配分とするために、大幅な見直しが必要であると考えられる。</p> <p>D：予算配分が明らかに非効率である。</p>
技術の普及可能性	<p>研究開発された成果の普及可能性はあるか。</p>	<p>A：十分に普及が見込まれる。</p> <p>B：普及の可能性があると認められる。</p> <p>C：普及の可能性が低いと考えられる。</p> <p>D：ほとんど普及が見込まれない。</p>